

WHY

KAMIKATSU ZERO WASTE CENTER

**GUIDE TO A BETTER LIFE
FIND ANSWERS FROM WASTE**

株式会社BIG EYE COMPANY
大塚 桃奈

上勝町のあたらしい「ゼロ・ウェイスト宣言」

2003年のゼロ・ウェイスト宣言から17年、上勝町では町民一人一人がごみ削減に努めリサイクル率80%以上を達成しました。小さな町の大きな挑戦は世界から注目され、持続可能な社会への道筋を示しました。

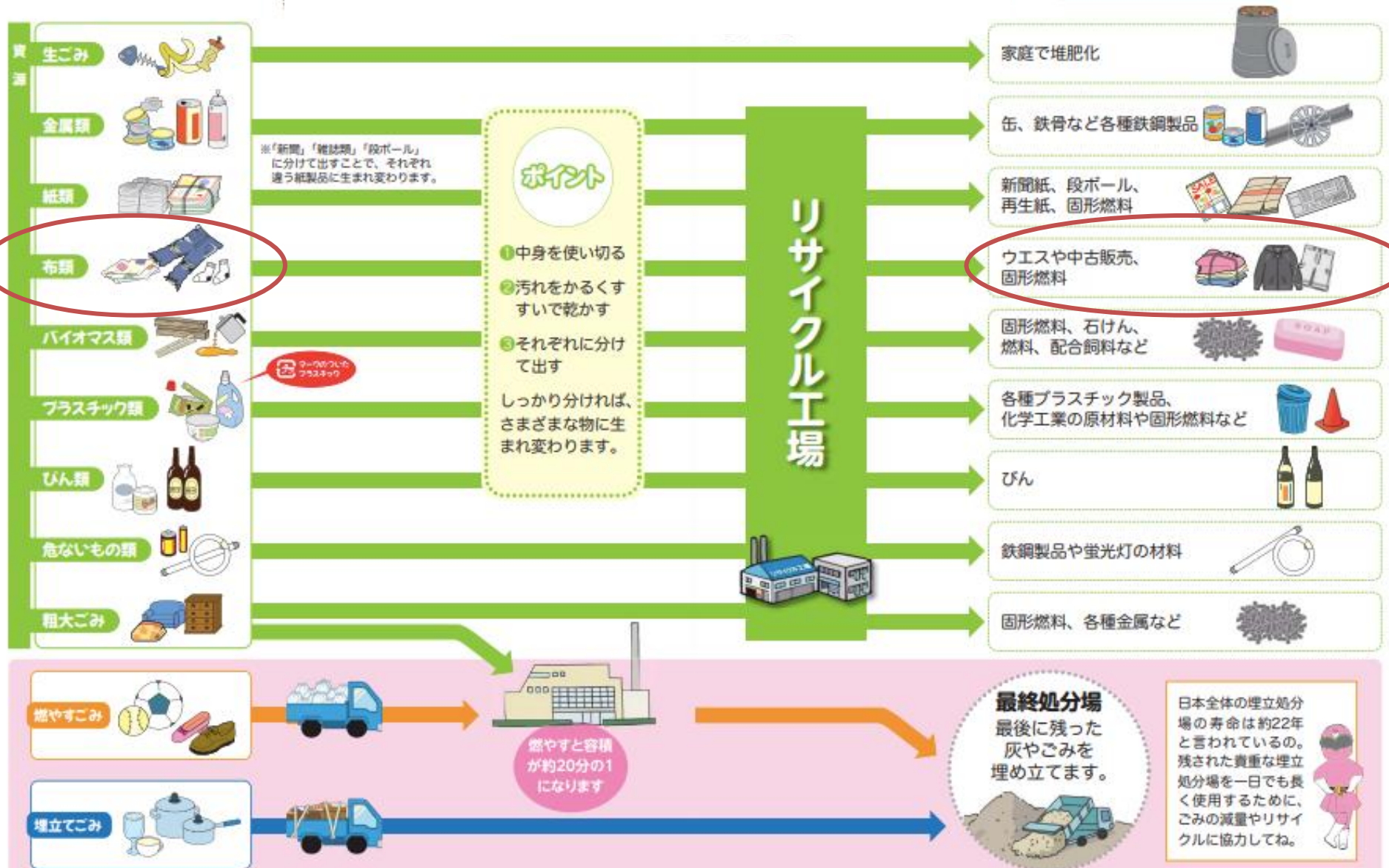
私たちが目指すのは、豊かな自然とともに、誰もが幸せを感じながら、それぞれの夢を叶えられる町です。

上勝町はゼロ・ウェイストの先駆者として、「未来のこどもたちの暮らす環境を自分の事として考え、行動できる人づくり」を2030年までの重点目標に掲げ、再びゼロ・ウェイストを宣言します。

1. ゼロ・ウェイストで、私たちの暮らしを豊かにします。
2. 町でできるあらゆる実験やチャレンジを行い、ごみになるものをゼロにします。
3. ゼロ・ウェイストや環境問題について学べる仕組みをつくり、新しい時代のリーダーを輩出します。

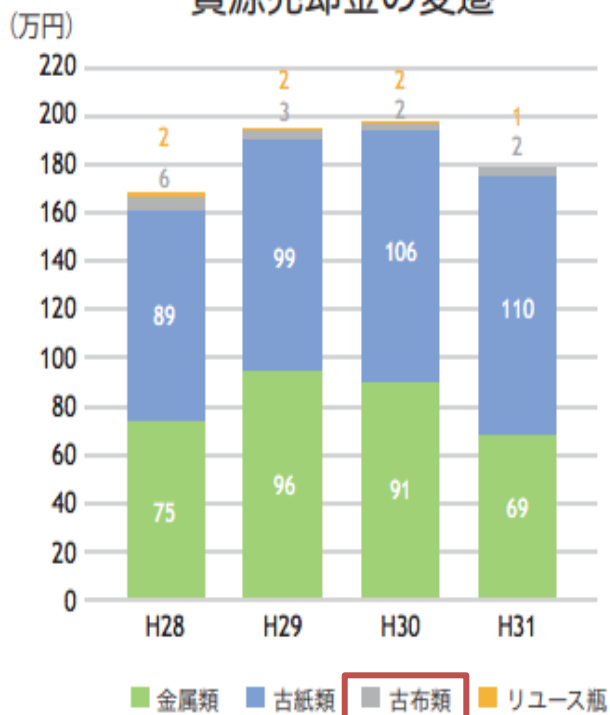
2020年12月18日
上勝町役場

上勝町における資源とごみのゆくえ



上勝町における資源の売却益とごみの処理費用

資源売却金の変遷



売上

順位	素 材	単 価 (税抜)	売上額 (税抜)
1	雑誌	13円/kg	約46万円
2	新聞紙	15.5円/kg	約36万円
3	金属屑	7円/kg	約34万円
4	アルミ	90円/kg	約29万円
5	段ボール	13.5円/kg	約25万円
6	スチール	23円/kg	約5.4万円
7	古布	3円/kg	約2.4万円
8	シュレッダー	10円/kg	約1.5万円
9	紙パック	14円/kg	約1.3万円
10	バッテリー	30円/kg	約1.1万円
11	ビール瓶	300円/ケース	約0.6万円
12	アルミ付き紙パック	5円/kg	約0.1万円
13	硬い紙管	3円/kg	約0.1万円
14	紙カップ	1円/kg	約0.01万円

参考：令和元年度

支出

順位	素 材	単 価 (税抜)	支出額 (税抜)
1	焼却ごみ ^{※1}	△57.2円/kg	318万円
2	木材(金属無し)	△36円/kg	95万円
3	木材(金属付き)	△46円/kg	
4	布団・マット・畳	△56円/kg	
5	ウエスにならない布類	△56円/kg	95万円
6	容器包装以外の廃プラスチック	△52円/kg	93万円
7	ガラス・陶磁器類 ^{※2}	△39.2円/kg	24万円
8	埋め立て 燃え殻	△20.8円/kg	12万円
9	再生紙にならない紙類	△36円/kg	8.3万円
10	不燃ごみ ^{※2}	△20.8円/kg	6万円
11	蛍光管	△105円/kg	4万円
12	タイヤ	△100円/kg	2.6万円
13	ガラス瓶(茶色) ^{※3}	△0.96円/kg	1万円
14	ガラス瓶(その他の色) ^{※3}	△1.276円/kg	0.2万円
15	ガラス瓶(無色) ^{※3}	△0.172円/kg	0.1万円
16	プラスチック製容器包装 ^{※3}	△0.46円/kg	0.3万円
17	白色トレイ ^{※3}	△0.46円/kg	0.01万円

※1 焼却灰の処理費を含む

※2 運搬費は単価に含まず、支出には含む

※3 容器包装リサイクル法により、再商品化にかかる費用は企業が負担する。町負担は項目別に1~16%

上勝町の服をとりまく課題

【サステナブルファッションの理想】

- 衣類が焼却／埋め立てされず、資源として循環すること。
- 服をたのしむ過程のなかであらゆる面で負担がないこと。

【上勝の現状】

1. 一方行のリサイクルになっている。
2. 衣類は資源回収時、マテリアルとしての価値が低い。

【求められる変化】

衣服をつくる段階から、素材の行き先があること。
資源回収が行われやすい制度設計を整えると同時に、
消費者も主体的にサステナブルの選択肢を選ぶこと。

WHYが考える「サステナブルファッション」

